

# 防災の仕事とは？

## 防災分野の建設コンサルタントの仕事内容





## ❖❖❖ 甚大化する災害に備える

平成26年8月20日未明に発生した「広島豪雨災害」の復興も中途段階である中で発生した「平成30年7月豪雨」は、西日本を中心に広い範囲で記録的な大雨となりました。岡山県、広島県、愛媛県等で河川の氾濫や土砂災害が相次ぎ、人的被害は1府13県で、死者224名、行方不明者8名に及ぶ極めて甚大な被害が広域で発生しました。

その後も、平成30年9月の台風21号や北海道胆振東部地震、令和元年8月の前線に伴う大雨、9月の台風15号及び台風19号により土砂災害や浸水被害が発生しました。また、令和2年7月には熊本県・鹿児島県を中心に猛烈な雨により球磨川水系の計13箇所では氾濫・決壊し、広い範囲で浸水被害が発生し、特別養護老人ホームでは14名の入所者が命を落としました。

近年では全国各地で毎年、甚大な被害が発生しています。

防災委員会では、このような災害に対する備えや避難の参考になるよう、“防災”、“減災”に繋がる活動をしています。



左:平成30年7月豪雨災害、広島市安佐北区の土砂災害状況

右:平成30年7月豪雨災害、三次市の浸水被害状況

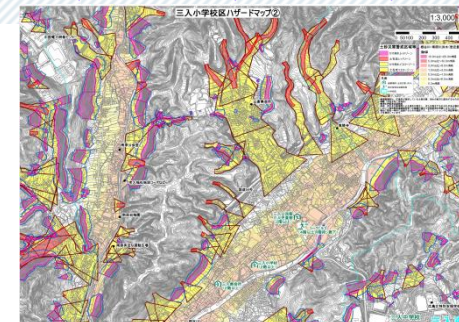


# 災害のないまちづくりに向けた取り組み

## ① ハザードマップ

みなさんがお住まいの地域にある災害のおそれのある範囲は、ハザードマップに示されており、各自治体のHPで確認できます。

- ・土砂災害：土砂災害警戒区域図（土石流・がけ崩れ・地すべり）
- ・洪水：浸水想定区域図
- ・高潮：高潮浸水想定区域図、津波：津波浸水想定区域図
- ・ため池：ため池浸水想定区域図



## ② 防災教育

小中学校と地域の公民館で、平成17年から防災教育講座を行っています。講座は以下の内容で行い、受講者の年齢、受講時間により適宜対応しています。

1. 災害の概要（土砂災害、洪水災害、地震災害）  
各種災害の特徴を事例を交えて解説します。
2. 警戒避難  
土砂災害や洪水災害は雨の降り方と密接に関連します。どのような雨が災害につながるか、災害が発生した場合にはどのような行動をとるかについて解説します。
3. ハザードマップの作成（土砂災害、洪水災害、地震災害）  
自宅周辺の危険箇所を直接地図に書き込むことにより、防災意識を高めることができます。作業は5～6人の班ごとに行います。
4. 防災クイズ  
簡単な○×クイズと少し応用が必要な課題があります。



小学校でのハザードマップづくりの様子

## ③ 災害Q & A

地域住民の方が自助、共助を実践する上で、私たち建設コンサルタント技術者が「地域に住んでいる方々の自助、共助の役に立てたら」という思いから、災害に関する基本的な事項をわかりやすくまとめたQ & A形式の冊子を作成しています。

- ・土砂災害Q & A（改定第5版）
- ・地震災害Q & A（改定第3版）

